

令和6年度
いこまSDGs
アクションネットワーク
活動報告

まち全体のSDGs達成へ

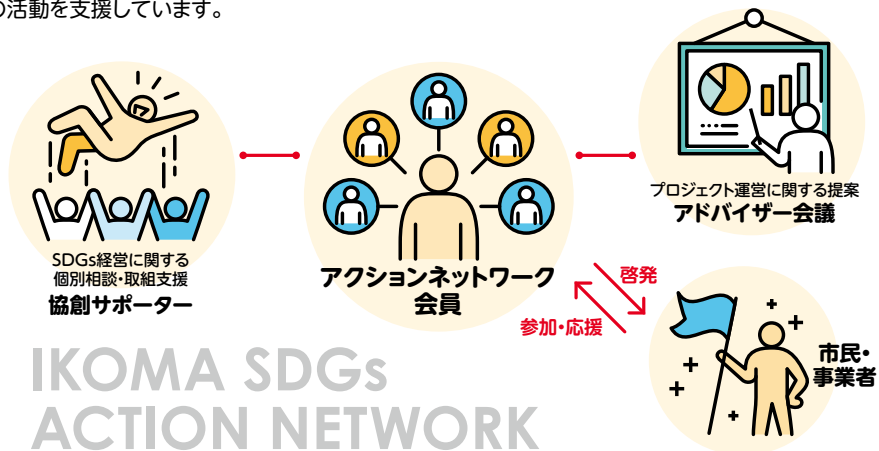


SDGs未来都市
I K O M A



いこまSDGsアクションネットワークとは？

生駒市に関わる企業・団体等が、それぞれの有する資源や知見等を活かし、目指すゴールや生駒市の地域課題の解決に向けて連携することで、SDGsの達成や持続可能なまちづくりを推進することを目的に事業を展開しています。また、市は協創サポーターやアドバイザー会議などで、会員のみなさまの活動を支援しています。



会員支援の取組

SDGs推進事業補助金

生駒市内でSDGs達成に向け2者以上が連携し実施した事業に補助金を交付

補助金額：40万円

(補助対象経費の1/2相当)



会員交流イベント

会員同士の連携促進、活動内容の共有、情報の発信のためのイベントを開催



セクションミーティング

会員のアイデアを事業化するため、市の関連部署を含めた分科会を設置し、事業化に向けた伴走支援



いこまSDGsデリバリー

会員が生駒市内の学校・団体向けに出前講座・体験会・ワークショップなどを実施のための支援



生駒市内限定置き配バッグ モニター募集施策



日本郵便株式会社 生駒台郵便局 × 一般社団法人 無限 ×
一般社団法人 和草 × NPO法人 SDGs奈良

●事業内容

再配達が多い世帯、子育て世帯・地域に関心のある世帯、高齢者がいる世帯を対象にモニターを募集し、置き配バッグの配布とアンケートを実施しました。

モニターと集配担当者へのアンケートをもとに、「置き配の利便性」「物流の2024年問題」「地域の団体が取り組んでいるSDGs」に関する情報誌を製作して発信しました。



●効果

置き配バッグの配布で、再配達回数が減少し、約812kgの二酸化炭素の削減がカーボンニュートラルにつながる取組となりました。

また、集配担当者の作業効率アップに寄与し、物流の2024年問題に対する消費者意識の向上につなげる取組となりました。



担当者から一言



置き配の現状と課題の発見があり、今後に向けた有意義な取組となりました。

南極のお話と 地球環境を知ろう!



リトルパイン総合型地域スポーツクラブ × いこま台4Tクラブ総合型地域スポーツクラブ

●事業内容

小学生を対象に、ノルウェー国立極地研究所の南極研究者の松岡健一さんをお招きし、南極での研究活動と地球環境のテーマにお話しをしていただきました。

また、南極の景色をVR体験やオリジナルSDGsキーホルダーづくりなどを通じて、視覚的・聴覚的な体験を提供しました。



●効果

南極のリアルな状況を現役の研究者から話を聞くことと視覚的・聴覚的な体験をすることで、未知の世界への探求心が高まるとともに、地球温暖化など環境問題や生態系の重要性といった地球環境を学ぶ機会となりました。



担当者から一言



南極研究者から話を聞くことで、こどもたちの記憶に残り、地球環境を考えるきっかけづくりとなりました。

防災マルシェ 2024



NPO法人 市民活動サークルえん × CODE for IKOMA

●事業内容

普段から気に掛け合い、助け合えるやさしい地域づくりを目的に、生駒市内で活動する企業・団体とともに『防災』をテーマにマルシェを開催しました。

マルシェでは、ワークショップや防災グッズの販売、段ボールベッドの組立トライアルなどの有事に役立つ情報発信を行いました。また、陸前高田市の復興支援団体などによる東日本大震災を踏まえた防災について紹介していただきました。



●効果

復興支援団体が実際に経験された被災地の様子などを直接話してもらうことで、災害の恐ろしさと防災の重要性をより明確に伝えることができました。

事業を通して、各団体と防災を軸にしたネットワークの幅を広げられたことが大きな成果であり、これを生かして事業をさらに拡大していきたいです。



担当者から一言



新たなネットワークができ、例年とは一味違ったイベントとなりました。

チロル堂×リングスター ～今日、みんなで地球のことを考えよう～



株式会社リングスター × 一般社団法人 無限

●事業内容

長崎県対馬市の海洋プラスチックごみを目の当たりにし、海洋プラスチックごみ削減に取り組む(株)リングスターとまほうのだがしやチロル堂が楽しみながら学ぶ環境イベントを開催しました。

イベントでは海洋プラスチックごみに関する紙芝居形式の講座や“チロルケース”を作成するワークショップを通して、海洋プラスチックごみについて楽しく学び、環境問題を「自分ごと化」することを目指しました。



●効果

イベントには約500名が来場し、多くの参加者が対馬市の海洋プラスチックごみ問題の深刻さに驚き、「できることから始めたい」との声が多く上がっていました。

また、対馬市の現場写真や漂着ごみ、プラスチックの原材料に触れることで強い印象を受けた人も多く、環境問題を「自分ごと化」するきっかけづくりになりました。



●担当者から一言



100年後の生駒の未来を作るきっかけになれば良いなと思います。

会員と多様な主体の連携

生駒市×奈良先端科学技術大学院大学×市民×事業者

奈良先端大発スタートアップ第1号に認定された株式会社mica、生駒市、市民、事業者が連携を行いました。

株式会社micaが開発したごみの種類、場所を記録できるIoTトングを活用し、奈良県、奈良県内流域市町村が主催の「大和川一斉清掃」で、各主体（市民、事業者、大学、行政）が連携し環境美化活動を行いました。



生駒市×事業者

生駒市 × 奈良先端科学技術大学院大学

生駒市SDGs推進課内の公民連携推進室では、行政と民間主体が互いの強みを掛け合わせ、地域課題の解決や新たな価値創造を目指す「生駒市協創対話窓口」を運営しています。

また、産学官連携の推進として、本市に立地し、包括連携協定を締結している奈良先端大との取組を強化しています。その一つとして、奈良先端大の研究者・学生が有する「研究シーズ」の事業化を支援するプログラム「I-SAP」を実施しました。

同プログラムでは、3つの研究シーズを採択し、スタートアップの創出や地域課題解決を図る施策への足掛かりとなるための活動に取り組みました。

生駒市協創対話窓口



いこま産学官アクセラレーションプログラム(I-SAP)



いこまSDGsアクションネットワーク 会員募集中!

生駒市は、SDGsの達成、持続可能なまちづくりに向けて、市域をフィールドにSDGs活動を行う企業・団体等を会員として募集しています。

会員となるメリット

- ☑ 市のサイトへの会員情報の掲載など、市の広報を通じた取組の発信ができます。
- ☑ 市やアドバイザーからSDGsの活動に関する相談や補助金交付など、取組を推進する支援が得られます。
- ☑ 市主催のイベントやリーフレット等で取組を紹介します。
- ☑ ネットワーク会員として、市民に活動のPRができます。
- ☑ 会員相互の交流や、具体的な連携・協力が得られる機会を確保します。



お問合せ先

〒630-0288 奈良県生駒市東新町8-38
生駒市役所 SDGs推進課
TEL:0743-74-1111
Email:sdgs-action@city.ikoma.lg.jp



いこまSDGsアクションネットワーク

発行：令和7年3月